

2010年8月10日

木材業景況調査結果

第311回（平成22年7月分）

(社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

7月は、販売量については、流通部門では前月と変わらなかったが、製造部門では増加した。仕入量については、流通・製造部門とも前月と変わらなかった。また、販売価格については、流通・製造部門とも変わらず、仕入価格については流通部門では変わらず、製造部門では上昇した。

8月は、販売量については、流通部門では増加の見通しであるが、製造部門では減少の見通しである。仕入量については、流通部門では変わらずの見通しであり、製造部門では減少の見通しである。また、価格については、流通・製造部門とも販売価格、仕入価格は変わらずの見通しである。

3ヵ月後の相場予想については、流通・製造部門とも北洋材は強含み予想、南洋材は保ち合い予想であり、米材、国産材は、流通部門では強含み予想であるが、製造部門では保ち合い予想である。また、建材は強含み予想である。

流通部門における「乾燥材取引の頻度」については、乾燥材の一定の取引は定着していると見られ、なお「増加」の回答が増えている。

プレカット工場の操業状況は、わずかであるが回復の傾向が見られる。

平成22年7月分集計表

()内は実数

〔流通部門〕モニター数108 回答数62 回収率57%

当月の状況

販売量	増加29%(18)	変わらず48%(30)	減少23%(14)
仕入量	増加24%(15)	変わらず52%(32)	減少24%(15)
販売価格	上昇6%(4)	変わらず92%(57)	下降2%(1)
仕入価格	上昇21%(13)	変わらず79%(49)	下降0%(0)

来月の見通し

販売量	増加29%(18)	変わらず52%(32)	減少19%(12)
仕入量	増加23%(14)	変わらず53%(33)	減少24%(15)
販売価格	上昇8%(5)	変わらず90%(56)	下降2%(1)
仕入価格	上昇18%(11)	変わらず80%(50)	下降2%(1)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	26%(14)	68%(36)	6%(3)
南洋材	24%(12)	74%(37)	2%(1)
北洋材	29%(15)	63%(33)	8%(4)
国産材	30%(17)	65%(37)	5%(3)
建 材	34%(17)	64%(32)	2%(1)

乾燥材取引の 頻度	増加	変わらず	減少
	30%(17)	68%(39)	2%(1)

〔製造部門〕モニター数117 回答数69 回収率59%

当月の状況

販売量	増加36%(25)	変わらず47%(32)	減少17%(12)
仕入量	増加26%(18)	変わらず48%(33)	減少26%(18)
販売価格	上昇13%(9)	変わらず83%(57)	下降4%(3)
仕入価格	上昇36%(25)	変わらず58%(40)	下降6%(4)

来月の見通し

販売量	増加12%(8)	変わらず59%(41)	減少29%(20)
仕入量	増加13%(9)	変わらず55%(38)	減少32%(22)
販売価格	上昇6%(4)	変わらず90%(62)	下降4%(3)
仕入価格	上昇16%(11)	変わらず75%(51)	下降9%(6)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	23%(6)	77%(20)	0%(0)
南洋材	29%(6)	71%(15)	0%(0)
北洋材	42%(10)	58%(14)	0%(0)
国産材	26%(15)	70%(40)	4%(2)

プレカットの動向

受注後、加工までの 待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	77%(10)	15%(2)	8%(1)